

令和4年度名寄市病院事業改革プラン点検・評価事項

令和5年12月

名 寄 市

## 第1章 総論

名寄市病院事業改革プランは、人口減少や少子高齢化などの医療における様々な課題が取り巻く中で、地域の連携を強化し経営を改善していくために策定され、令和4年度をもって2ヵ年目を迎えました。

令和4年度は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、徐々に緩和された社会状況に合わせて計画に定める取組みの推進に努めてきました。

令和5年6月には、「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」（令和4年3月29日付け総財準第72号総務省自治財政局長通知別添）に基づき、本プランを踏襲しつつさらに発展させた「名寄市病院事業経営強化プラン」を策定しました。これまでの取組結果を十分に検証しながら、今後は当該計画に沿って地域の医療資源を最大限活用して諸処の課題解決を図ります。

## 第2章 市立総合病院

### 1. 総括

令和4年度における予定取組み事項については、通信技術等を活用しながら一部を除いておおむね実施することができました。

国や道の補助事業を活用しつつも経常黒字を達成し、その他の指標については患者数に大きく起因する項目以外はほぼ計画のとおりとなりました。

### 2. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

#### ①取組み項目の実施状況

地域医療構想を踏まえた役割の明確化にあたり、令和4年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

#### 【令和4年度の取組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	R4		
			計画	実績	摘要
地域包括ケアシステムの構築	医療機関等との連携	後方支援病床の確保	継続	継続	・関係機関における連携強化に向けた協議
		クリティカルパスの推進	継続	継続	・大腿骨骨折に係る地域連携パスを年間12回運用
		患者の流れの円滑化推進	実施	実施	・初診時選定療養費の改定

福祉機 関・施設 との連携	情報交換・連携の 強化	継続	継続	・「Team」の電子カルテ端末での運 用開始による院内運用改善
教育機関 との連携	市立大学との人材 交流・共同研究	継続	継続	・名寄市立大学と名寄市立総合病院 との包括的連携協定に基づく、各種 研修の相互協力
住民の理 解	広報活動の充実・ 強化	継続	継続	・広報誌の発行、ホームページの更 新

## ②数値目標の達成状況

紹介率及び逆紹介率では目標を達成したものの、診療科の体制の変更などにより新規入院患者紹介率及び在宅復帰率は目標を下回りました。また、医師派遣件数については、一部病院に対する派遣を終了した診療科の影響などにより目標を達成することができませんでした。

	R2 実績	R3 実績	R4 目標	<b>R4 実績</b>	R5 目標	R6 目標	R7 目標
紹介率	29.7	33.2	30.9	<b>32.2</b>	31.6	32.2	32.8
逆紹介率	13.6	13.3	14.2	<b>16.5</b>	14.5	14.8	15.1
新規入院患者 紹介率	16.9	15.9	17.4	<b>15.9</b>	17.6	17.9	18.1
在宅復帰率	87.3	87.8	90.0	<b>84.2</b>	91.3	92.7	94.0
医師派遣件数	724	816	810	<b>775</b>	810	810	810

## 3. 経営の効率化

### ①令和4年度決算の状況

令和4年度の料金収入は、新型コロナウイルス感染症の感染力や病原性が変異するとともに、社会経済活動の再開に合わせて市中感染が増加し、入院収益及び外来収益においてともに大きな影響を受け医業収益全体で計画を363百万円下回り、8,220百万円となりました。一方で、医業外収益において、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業による確保病床の補償等を受け、経常収益全体で10,155百万円となりました。

支出については、物価高騰により全体的なコストが押し上げられるとともに、原油価格の上昇による光熱費の増大により主に経費において計画を大きく上回りました。

結果として123百万円の経常黒字となりましたが、医業収支比率は1.8ポイント悪化しており、増収に向けた取組みの必要性がより一層高まっています。

②取組み項目の実施状況

経営の安定性の向上に向け、令和4年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

【令和4年度の取組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	R4		
			計画	実績	摘要
経営の安定性	医師の確保	医育大学・関係機関への働きかけ	継続	継続	・旭川医科大学を中心に、道内医育大学への医師確保の要請
		臨床研修プログラムの充実	継続	継続	・研修医確保に向け、継続して医学生の受け入れ及び環境面充実 ・臨床研修評価機構の評価受審による指摘事項の検討・改善
	医療スタッフの確保	働き方改革の推進	実施	実施	・特定行為研修に係る指定研修機関の指定を受けた研修体制の充実
		随時募集・再就業支援研修の拡充	継続	継続	・安定的な看護体制を図るため随時募集・採用の実施 ・ナースカフェの開催による名寄市立大学の看護学生と交流実施 ・新型コロナウイルスまん延防止に配慮した研修受け入れ
		情報収集・計画的な採用	継続	継続	・情報収集・計画的な医療スタッフの採用
		修学資金貸付事業の推進	継続	継続	・制度の拡充
	柔軟な給与制度の検討	他病院の状況調査・分析	継続	継続	・看護職員処遇改善に係る調査・分析の実施
		医療職給料表の検討	検討	検討	
	高度医療機器の計	費用対効果・使用頻度を勘案した計画的な整備	継続	継続	・多項目自動血球分析装置等の更新

画的な整備	共同購入・共同利用の検討	継続	継続	・マンモグラフィ装置の共同交渉
経営感覚に富む人材の登用	病院事業経営に精通した人材の登用・プロパー職員の採用	検討	検討	・病院事業経営に精通した人材登用に向けたプロパー職員の募集
施設・設備の適正管理	計画的な改修工事等の実施	継続	継続	・手術室棟建設にかかる実施設計
新興感染症に備えた対応	感染症拡大に備えた体制整備	継続	継続	・事業継続計画の策定
	医療機器整備及び施設改修	継続	継続	・一般撮影装置等の整備
医業収益の確保	効果的な施設基準の選択	継続	継続	・経営コンサルタントによるベンチマークの活用による分析 ・施設基準担当職員の定期的な外部研修会への参加
適切な診療報酬の請求	職員のスキルアップ・各種説明会・研修会の実施	継続	継続	・DPC 制度に関する定期的な院内研修 ・診療報酬改定に伴う各種研修
	回収業務の強化	継続	継続	・催告通知の継続的な実施
病床の効率的運用	診療部・看護部の連携による効率的病床管理	継続	継続	・最適なベッドコントロールの維持
効率的な人員配置	業務改善の推進	継続	継続	・組織機構見直しによる業務効率化
その他管理的経費の節減	費用に対する意識の改善	継続	継続	・プラスチック処分量の圧縮対策の実施

### ③数値目標の達成状況

#### 1) 収支改善

収支改善に関する指標は、昨年同様、経常収支比率は新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等の活用で目標を上回ったものの、医業収支比率については目標を達成することができませんでした。

	R2 実績	R3 実績	R4 目標	<b>R4 実績</b>	R5 目標	R6 目標	R7 目標
経常収支比率	98.4	102.9	94.3	<b>101.2</b>	96.9	100.2	103.7
医業収支比率	95.2	87.0	90.4	<b>85.2</b>	92.8	94.7	99.1
修正医業収支比率	96.8	88.3	92.2	<b>86.6</b>	95.3	98.5	103.3

## 2) 経費削減

経費削減に関する指標については、医業収益の減によりそれぞれ目標達成することができませんでした。前年度比については、材料費の減少で0.8ポイント回復したものの、処遇改善などで職員給与費が増大し、2.4ポイント悪化しました。

	R2 実績	R3 実績	R4 目標	<b>R4 実績</b>	R5 目標	R6 目標	R7 目標
職員給与費対医業収益比率	61.8	63.5	62.4	<b>65.9</b>	60.7	59.0	55.7
材料費対医業収益比率	28.4	27.9	26.6	<b>27.1</b>	25.7	24.8	24.1

## 3) 収入確保

収益確保に関する指標について、患者一人当たりの診療収入は、外来においてはほぼ横ばいとなり、入院については令和4年度診療報酬改定に伴う加算等により増加となりました。

患者1人1日 当たり診療収入	R2 実績	R3 実績	R4 目標	<b>R4 実績</b>	R5 目標	R6 目標	R7 目標
一般科入院	71,987	72,734	65,220	<b>73,266</b>	67,423	69,698	72,051
精神科入院	18,399	18,924	18,539	<b>20,186</b>	19,165	19,813	20,481
一般科外来	13,775	13,548	12,902	<b>13,242</b>	13,463	14,048	14,659
精神科外来	7,141	7,030	7,158	<b>7,081</b>	7,469	7,794	8,132

## 4) 医療資源の確保

医療資源の確保に関する指標については、医師及び看護師数については計画を下回ったうえ

昨年比でも減少しています。医師数については、常勤医師数が横ばいであることから、臨床研修医のマッチングに向けた体制整備を行う必要があります。看護師数については、特に夜勤のある病棟勤務においてスタッフ不足が課題となっており、要因の分析と対策が急務です。

また、有形固定資産減価償却率は、年々建物の老朽化の影響を受けており、適切な長寿命化を施すとともに、医療の質や安全を確保するため、適宜医療機器の更新を図っていく必要があります。

	R2 実績	R3 実績	R4 目標	<b>R4 実績</b>	R5 目標	R6 目標	R7 目標
医師数	71	72	70	<b>69</b>	71	73	72
看護職員数	360	331	373	<b>325</b>	375	380	380
有形固定資産 減価償却率	51.5	52.5	49.0	<b>54.9</b>	46.4	46.5	44.9

※医師数には管理者を含む。

※看護職員数は助産師、看護師、准看護師、保健師及び看護助手の人数で、パートタイム職員は常勤換算している。

#### 4. 再編・ネットワーク化の取り組み

##### ①取り組み項目の実施状況

再編・ネットワーク化の取り組みとして、令和4年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

##### 【令和4年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	R4		
			計画	実績	摘要
再編・ネットワーク化	地域医療連携推進法人による共同取組	共同取組の推進	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔救急支援事業（Caseline）正式運用開始</li> <li>医薬品の共同交渉</li> </ul>

##### ②数値目標の達成状況

本項目において数値目標は設定しておりません。

## 5. 経営形態の見直しに対する方向性

### ①取り組み項目の実施状況

経営形態の見直しに関して、令和4年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

#### 【令和4年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	R4		
			計画	実績	摘要
経営形態の見直し	地方公営企業法全部適用後の取り組み	取組状況の検証と見直しの検討	実施	実施	・自律的な職員募集等の実施

### ②数値目標の達成状況

本項目において数値目標は設定しておりません。

## 第2章 東病院

### 1. 総括

東病院は、現在、上川北部医師会が平成26年から10年間の基本協定に基づき、指定管理者として病院運営を行っており、長期療養や慢性期リハビリテーションに係る医療を提供しております。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の検査体制を整備し、地域における発熱患者の多くを受入れ、結果として収益の向上につながりました。

### 2. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

#### ①取り組み項目の実施状況

地域医療構想を踏まえた役割の明確化にあたり、令和4年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

【令和4年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	R4		
			計画	実績	摘要
地域包括ケアシステムの構築	医療機能の検証	病床の規模・機能の検証	実施	実施	
	関係機関との連携	情報交換・連携の強化	実施	実施	・地域医療連携室の体制維持
	住民の理解	広報活動の充実・強化	実施	実施	・ホームページによる情報発信

②数値目標の達成状況

各指標において計画を上回りました。

	R2 実績	R3 実績	R4 目標	<b>R4 実績</b>	R5 目標	R6 目標	R7 目標
急性期病院からの新規入院患者紹介率	46.5	54.5	45.0	<b>56.9</b>	45.0	45.0	45.0
介護・福祉施設等からの新規入院患者紹介率	3.0	29.5	10.0	<b>32.4</b>	10.0	10.0	10.0
在宅復帰率	66.7	60.0	33.3	<b>63.3</b>	33.3	33.3	33.3

3. 経営の効率化

①令和4年度決算の状況

令和4年度の経営状況は、経費において特に人件費に相当する診療交付金で前年比では増大したものの計画を下回っており、医業収益でも計画は下回ったものの前年より増加していることから、他会計補助金を計画よりも51百万円抑制することができました。

②取り組み項目の実施状況

経営の効率化に向け、令和4年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

【令和4年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	R4		
			計画	実績	摘要
経営の 安定性	医師の確保	医療振興財団等との連携・人脈を通じた情報収集	実施	実施	・医師2名体制を維持
	医療スタッフの確保	勤務環境の整備	実施	実施	
	施設・設備の適正管理	適正な維持管理の実施	実施	実施	
	医業収益の確保	効果的な施設基準の選択	実施	実施	・午後外来診療（週3回：月～水） ・総合健診実施体制を継続
	適切な診療報酬の請求	職員のスキルアップ・各種説明会・研修会の実施	実施	実施	
	未収金の発生防止と回収対策	相談体制の充実・催告強化	実施	実施	
	病床の効率的運用	医師・看護師の連携による効率的病床管理	実施	実施	
	効率的な人員配置	業務内容・方法の改善を研究	実施	実施	・一部業務のアウトソーシング

③数値目標の達成状況

各指標についておおむね目標を達成することができました。

	R2 実績	R3 実績	R4 目標	<b>R4 実績</b>	R5 目標	R6 目標	R7 目標
経常収支比率	100.0	102.8	100.0	<b>99.9</b>	100.0	100.0	100.0
医業収支比率	76.1	80.0	79.0	<b>82.1</b>	80.4	82.4	84.2
修正医業収支比率	79.5	83.7	82.6	<b>86.0</b>	84.1	85.8	87.6

#### 4. 再編・ネットワーク化の取り組み

##### ①取り組み項目の実施状況

再編・ネットワーク化の推進に向けて、地域医療連携推進法人への参加による医療機関における相互協力関係の強化について模索しました。

##### 【令和4年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	R4		
			計画	実績	摘要
再編・ネットワーク化	地域医療連携の推進	地域医療連携推進法人への参加の検討	検討	検討	

##### ②数値目標の達成状況

本項目において数値目標は設定しておりません。

#### 5. 経営形態の見直しに対する方向性

##### ①取り組み項目の実施状況

経営形態の見直しについては、指定管理者である上川北部医師会との基本協定が令和6年3月31日をもって満了することに伴い、今後の運営の在り方についての検討を実施しました。

##### 【令和4年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	R4		
			計画	実績	摘要
経営形態の見直し	指定管理者制度の継続	再委託に向けた調整	実施	実施	